



-写真石山修武研究室提供-

第1回セミナー 「幻庵をつくらせたもの」

幻庵・世田谷村とひろしまハウス

講師：石山修武（建築家 早稲田大学教授）

進行：兼松紘一郎（建築家・兼松設計）

日時：2010年10月4日（月）18：30～20：30

会場：リビングデザインセンターOZONE 8階セミナールームA

定員：60名

参加費：DOCOMOMO 会員 1,000円 会員外 2,000円

<見学会> 「幻庵」(愛知県：石山修武設計・1975) 明治村。 17日愛知県立芸術大学(予定)他
日時 2010年10月16日(土) 17日(日) 詳細は後日ご案内します。

セミナー概要

2010年度のDOCOMOMO Japan + OZONE セミナーは、「住宅」をテーマとして取り上げます。
第1回のセミナーは、建築家として数々の話題作を世に問い、早稲田大学教授として後進の指導をされている石山修武氏をお迎えします。私淑した川合健二のコルゲートチューブにインスパイヤされた27歳の石山氏は「幻庵」をつくり建築界に衝撃を与えますが、「数寄者」クライアントのほしかったのはコーヒーの飲める茶室。「できるものならやってみろ！」 つくったのか、つくられたのか、石山氏は目を閉じて想いを馳せます。以後石山氏は「建築とは何か」を自身にも社会にも問いかけながら建築をつくっていきますが、今回は自邸「世田谷村」と、広島とカンボジアの人たちと一緒につくった「ひろしまハウス」にも触れてもらい、「石山修武の世界」を一夜味わいたいと思います。

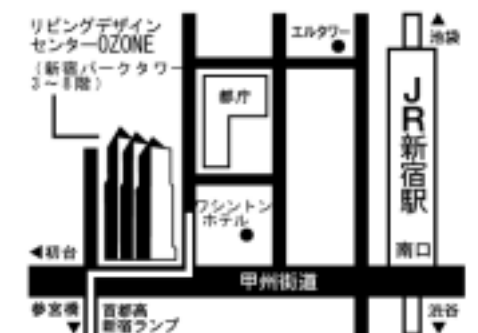
石山修武(いしやま おさむ) 建築家、早稲田大学教授。

1944年生まれ。1968年早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専攻修了。1972年「高山建築学校」に第一回日から講師として参加、以後1990年まで断続的に参加する。1988年早稲田大学理工学部建築学科教授に就任、2008年、世田谷美術館にて『建築がみる夢 石山修武と12の物語』展開催。

<作品> 幻庵(1975) 伊豆の長八美術館 (1984) 吉田五十八賞、開拓者の家(1986)、リアス・アーク美術館(1994) 日本建築学会作品賞、世田谷村(2001) 芸術選奨文部科学大臣賞、ひろしまハウス(2006) ほか多数
<著書> 笑う住宅(筑摩書房) 現代の職人(晶文社) 生きのびるための建築(NTT出版) ほか多数

申込方法

- * OZONEのホームページよりお申し込みください。
http://www.ozone.co.jp/event_seminar/seminar/seminar_c/detail/881.html
(あるいは、www.ozone.co.jp にアクセスし、「イベント・セミナー」「セミナー プロフェッショナル」からも、本セミナーの案内・申込画面を開くことができます)
- * 申し込みに際しては、ドコモ会員のかたは、会員番号をかならずご明記ください。
- * 申し込み多数の場合は抽選とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。
- * ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、ご本人の承諾なく第三者に開示・提供は致しません。



JR新宿駅南口から徒歩約12分
西口エルタワー前より約10分間隔で無料バス運行